



総務部門向けに働き方改革の実現を支援するITサービスを紹介

日立システムズ

企業の総務部門は、庶務、福利厚生、衛生管理など多くの社内サービスを取りまとめ、全社コミュニケーションのパイプ役や全社活動の推進役など、企業活動において重要な役割を担っている。また、昨今、働き方改革をキーワードに、生産性向上を図るためのさまざまな取り組みが企業で行われているが、その中心的役割を総務部門が担っているケースも少なくない。生産性の向上を実現するためには、働く従業員の仕事の効率性と創造性の向上が不可欠となり、それと同時に従業員の「働く場」の環境づくりが重要となる。こうしたことから、総務部門の担う役割は年々増している。

総務部門向けITサービスを 紹介するイベントを開催

そこで、日立システムズは、「業務効率化」「オフィス環境改善」「フィジカルセキュリティ」など、幅広いテーマで総務部門の役に立つ製品やサービスを紹介する「日立システムズ総務部門向けITフェア2018」を1月に浜松町で開催し、112名が来場した。

本フェアでは、日立システムズのパ



来場者の関心を集めたRPAの導入を支援する「定型業務自動化支援サービス」の展示

ートナー企業とともに、RPAによる業務の自動化やAIを活用した対話型自動応答、旅費精算、交通費の支払代行、デジタルサイネージなどの業務効率化サービス、会議室のモニタリングや照明の遠隔監視、空気を殺菌する空調設備などのオフィス環境改善サービス、エネルギーデータや環境データの収集、入退室管理などのフィジカルセキュリティサービス、文書の管理業務や複合機などのドキュメントサービスなど、各種サービスを展示した。

業務の質を変え 付加価値を生み出す

数ある展示のなかでも、RPAの導入を支援する「定型業務自動化支援サービス」は多くの来場者の関心を集めた。本サービスは、人手で行う定型業務をソフトウェアロボットが作業代行



にぎわう総務部門向けITフェアの様子

するもので、業務の工数削減を実現し、さらに人的ミスが減ることで品質向上が期待できる。仕事の効率を上げることで本来業務に集中することができ、生み出された時間を有効活用することで広く新しい視点で仕事に取り組むことができる。

業務の質を変え効率良く作業を減らすことで、働く従業員のモチベーションが上がり、付加価値が生まれる。日立システムズは、自社の働き方改革の取り組みにおいても、従業員の意識改革や取り組みに関する情報発信の手段としてデジタルサイネージを活用することで、全社的に役立てている。シス

テム面からファシリティ面まで含めた生産性向上につながる改善をサポートするサービスを、パートナー企業との連携により提供していくことで、お客さまの業務に付加価値を生み出すことにつなげていく。



自社の働き方改革に関する情報発信などにも活用しているデジタルサイネージ